

7月定例記者会見資料

平成25年7月1日（月）13:00～

ハイトピア伊賀4階 ミーティングルーム

1. 市長からの発表

・庁舎内の緑化について

私はかねてから、市役所内に緑がないと思っていましたので、まず南庁舎に緑化植物などを設置できないか検討するよう、担当に指示をいたしておりました。そして、このほど、伊賀白鳳高校の協力がいただけることとなり、緑化植物を配置いたします。

緑化植物は、プランター用としてマリーゴールドやサルビア等 7～8 種類の草花で、合わせて4箱を南庁舎東側の入口付近に植栽して配置いたします。

また、観葉植物として、庁舎1階ロビーにゴムの木など計6鉢を配置いたします。

ご協力いただきますのは、伊賀白鳳高校生物資源科の3年生3人と指導教師2人で、日時は、7月5日（金）午後1時からです。

高校生の皆さん、先生方のご協力により、来庁される市民の皆さんに少しでも憩いと安らぎの空間を提供できると考えています。

・知事と市長の1対1対談の開催について

7月14日（日曜日）、午後1時から2時まで、三重県伊賀庁舎7階大会議室で「知事と市長との1対1対談」を開催します。

この対談は、三重県知事が会長となっています「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の地域会議として、平成23年度から知事の提案により始まったもので、市固有の具体的な課題について、知事と私が直接、意見交換を行い、その課題の解決に向けて議論します。

当日は、県と市のコラボレーションをテーマに、伊賀市の城下町や自然豊かな農村部に加え、来年、芭蕉翁生誕370年を契機に更に「三重県・伊賀市」の情報発信することなどを踏まえた観光振興や、伊賀市の農林生産物の地域ブランド化や強い産地づくりなどの農林業の振興、南海トラフ大地震の発生が危惧されるなかで、内陸部における災害支援機能強化のための防災対策などについて、市と県との協働や役割分担できることを、知事と語り合いたいと思っています。

なお、対談につきましては、多くの方にご覧いただきたいため、公開で開催いたします。観覧をご希望される方は、特に事前申込みや定員は設けておりませんので、当日、会場まで直接、お越しください。

・名神名阪連絡道路シンポジウムの開催について

名神名阪連絡道路については、平成13年に名阪国道上柘植ICから名神高速道路蒲

生スマートインターまでの区間が調査区間に指定されております。本路線は道路網の機能強化のみならず、大型混入率の高い沿線地域の生活道路の安全確保や、東海、東南海、南海地震等災害時のセーフティーネットとして重要となりますことから、そのさらに上である整備区間に指定されるべく活動を展開しております。

今年度におきましては例年の活動とは別に、名神名阪連絡道路の早期実現に向けて7月27日（土）の午後2時からシンポジウムを開催することとなりました。場所は、滋賀県甲賀市土山町のあいの土山文化ホールにて開催いたします。内容は、元国土交通事務次官の谷口 博昭氏をお招きし、「21世紀のくらしとみち―名神名阪連絡道路に期待して―」と題しまして講演をいただいた後に、地元の方々から意見発表をいただく予定です。参加費無料となっておりますので、お誘いあわせの上ご出席いただきますようよろしくお願いします。

・嘉田由紀子滋賀県知事の講演会の開催について

5月の定例記者会見でも少しお話をさせていただいたと思いますが、去る4月30日に滋賀県庁を訪問し、嘉田由紀子知事と懇談を行った際に、治水についての講演をお願いしてまいりました。

8月4日（日）の午後2時から嘉田滋賀県知事をお招きし、「住民目線からみる治水政策～生活環境主義でいこう～」と題しまして講演会を開催します。

場所は、ハイトピア5階 多目的大研修室で実施します。定員は250人で、参加費無料となっておりますので、こちらにつきましても、皆様お誘いあわせの上ご出席いただきますようお願いいたします。

○主な質疑応答

（記者） 嘉田知事の講演会について、嘉田知事に期待していることや、こんなことについて話をしてほしいと依頼していますか。

（市長） 嘉田知事は水環境の問題、生活環境の問題について、しっかりした考えをもっておられます。滋賀県で作成されたハザードマップは、たとえば今住んでいる場所の前の溝がどういうふうになってくるのか、排水がどうなるのか、実に細かなところまで方眼に区切って、その危険度を調査したものであり、緊急時にそれぞれの場所がどういう状態になるか分かるというマップです。私たちの地域においても大変重要なマップではないかと思いますが、そういう話をお聴きできればと思っています。

また、私たちにとって大切な水にどう向き合っていくのがいいのかというところをお伺いできればと思っています。

（記者） 名神名阪連絡道路シンポジウムについて、こういったテーマで開催するのは初めてですか。

（市長） 初めてです。そういった意味では、地元の熱意をひとつに収斂した形であると思います。これで滋賀県もその意義をご理解いただき、積極的に動いていただけると期待をしています。できれば、三重県知事と滋賀県知事も一緒に参加していただけたら何

よりであると思っています。

(記者) 知事と市長の1対1対談について、平成23年度のテーマの「旧上野商業高校体育館・弓道場の保全・存置について」の現在の進捗状況はどうなっているか伺いたい。

(市長) 重要な案件であると認識しているので、よい方向性が見つかるよう鋭意検討しているところです。

2. 7月の主な行事予定

(1) 夏の交通安全県民運動（平成25年7月11日（木）～20日（土））

運動の重点

「飲酒運転の根絶」

「子どもと高齢者の交通事故防止」

「自転車の安全利用の推進」

「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」

・伊賀警察署管内

7月11日（木）

7：30～7：55 出動式（伊賀市役所本庁舎前駐車場）

＊雨天時はハイトピア5階多目的大研修室

8：00～8：15 啓発（ミルミル・ウエーブ）

（伊賀市役所本庁前歩道）＊雨天時は中止

17：30～18：00 街頭啓発（アピタ伊賀上野店）

問い合わせ先：市民生活課（22-9638）

・名張警察署管内

7月11日（木）

9：30～10：00 出動式（伊賀市青山支所前駐車場）

＊雨天時は青山公民館2階中ホール

問い合わせ先：青山支所住民福祉課（52-3227）

(2) 第29回青山夏まつり

日時：7月14日（日）15：00～21：30

場所：青山ホール前駐車場・青山公民館周辺

内容：こどもつみ木ひろば、和太鼓演奏、ソーラン踊り、盆踊り、花火、
各種団体の出店など

問い合わせ先：第29回青山夏まつり実行委員会事務局

伊賀市商工会青山支所(52-0438)

青山支所振興課(52-1112)

(3) 第 16 回農業ふれあいまつり

日時：7月15日（月・祝）9:00～15:00

場所：伊賀市農業公園ふれあい広場（伊賀市予野地区）

内容：都市住民と農村住民の交流イベント、地元農畜産物の展示即売など

問い合わせ先：農業ふれあいまつり実行委員会（39-1250） 農林振興課（43-2302）

(4) 伊賀市消防団夏期訓練

日時：7月21日（日）9:00～11:30

場所：旧成和中学校グラウンド ＊雨天時は同校体育館

内容：通常点検、各分団選抜ポンプ操法、感謝状贈呈など

問い合わせ先：消防本部消防救急課（24-9115）

(5) ひゅーまんフェスタ 2013

日時：7月28日（日）14:00～16:00

場所：ヒルホテルサンピア伊賀4階 白鳳の間

内容：3部作「戦争を聴くⅢ」

「敗戦への道—アジア・太平洋戦争を問い直す」

講師：一橋大学大学院教授 吉田 裕さん

問い合わせ先：人権政策・男女共同参画課（47-1286）

(6) 第9回市民公開講座 オープンホスピタル 病院で働こう！

日時：8月3日（土）12:30～15:00

場所：上野総合市民病院

内容：体験用機器を使っの手術体験、注射・血圧測定体験、調剤体験、
各種栄養剤の試飲など

問い合わせ先：上野総合市民病院 経営企画課（24-1111）

3. その他（主な質疑応答）

（記者）川上ダムの件に関してですが、水道事業基本計画の利水計画見直しの目処は立っていますか。

（市長）さまざまな条件をクリアーしていかなければならないため、遅れるというようなことを水道部から聞いています。どれくらいかと言うと年内です。

（記者）それを受けて判断するので、利水面での判断は今年中には難しいということですか。

(市長) 今年中には難しいかもしれません。

(記者) 先般、公共施設白書が出ましたが、今後どのように検討するか、スケジュール的に具体的に決まっていることはありますか。

(市長) 秋ぐらいから各地区を回って、財政的なことと併せて伊賀市の状況を報告、懇談をしていく予定です。市民の皆さんにもしっかり受け止めていただかなければならない状況であるということをご理解いただきたいと思います。

(記者) 庁舎整備に関するアンケートについてですが、6月14日発送で7月1日までの回答期限ですが集まり具合等どんな状況ですか。

(管財課長) 今日現在で46%です。最終的には5割ぐらいになるかと思います。

(記者) 議会全員協議会で教育委員会から成人式開催の分散化の話がありましたが、実際に参加される新成人の意見は聞いていますか。

(市長) そのことは私が申し上げたことです。実際に成人式に出席しまして、新しい成人をこの地域に迎え入れる場として本当に相応しいのか、また、来られる方がこれから大人としての自覚を持って社会に参加していく意識を持っておられるのか、大変疑問に思ったところです。

成人式というのは、地域やご両親が育て上げた新成人を地域社会に迎え、その方たちも地域の一員として自覚を持っていただくという、それが成人式の意義であります。大変残念ですが、そういう意義を感じられない状況が見ることができました。

ならば、もう一度、地域に戻って、地域もご両親も新成人も実際に参加して、その決意をしていただく機会にすることが本意ではないかと思います。

中学校区を基として、それぞれが行きたいところに行けるようなことを考えています。市民の皆さんの税金を預かっている私としての責務として改革をしたいと思っています。

(記者) 議会全員協議会では、成人式はやめてもいいのではないかという意見もありましたが、市長はどう思いますか。

(市長) 今のままの状況であればやめてもいいのではないかと思います。しかし、本来、成人式というものは、みんなでお祝いをして意欲を持っていただくことですので、そのあり方をみんなで考えてみましょうということで、そういうこともありえるのかなと考えています。あのような状態であれば、税金をいただいている市民の民さんに申し訳ないと思っています。

(記者) 公共施設事業白書と庁舎問題について、2件とも住民説明会をされると思いますが、説明した結果、住民合意をどうして確認していきますか。

(市長) 皆さんの意見を最初から聴くということは、2度と前回の轍を踏まないというのが庁内でのコンセンサスです。アンケートを取るなり、あるいはそれをまた市民の皆

さんに説明、報告するというような、市民の皆さんにフィードバックすることは当然のことです。その結果いろいろな方針が考えられると思います。